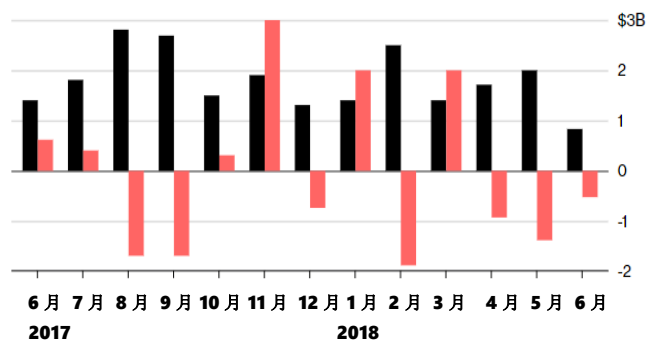


ハイライト

ローカルフレバー

国内資金フローはインドの株を世界的ショックから押し上げている。

■ 国内フロー ■ 海外フロー



出典: Bloomberg

インドの S&P BSE Sensex は第 2 四半期に 7.5% 増加、展途上国の中で最高のパフォーマンスを記録した。その間に、MSCI 新興市場指数はほぼ 9% 低下した。国内資金は、29 億米ドルの外国流出と比較して、4 月から 6 月にかけて相当インド株式の純資産の 45 億米ドルを購入した。金と不動産からの貧しい収益の中での株式ファンドの国内需要は、原油価格の高騰やルピーの弱さなどの逆風から Sensex が誘発するのを助けた。大規模な流出を経験しているインドネシアやタイのような市場と違って、年度累計にインドにおいてインドの株の引き出しが 8 億ドル未満になるのを見えます。(出典: Bloomberg)

昨年 7 月 1 日に施行された GST のオーバーホールの成功を受けて、インドは 3 月終了の 18 年度の GST 収入から 190 億ドルの収益を調達する可能性が高い。暫定財務相、Piyush Goyal は前年度の 8,989 億ルピー (131 億 1,000 万米ドル) の平均と比較して、GST の回収に期待し、当年度の平均年間回収額が 1.1 兆ルピー (160 億 4,000 万米ドル) になると予想している。新しい商品およびサービス税は、ほとんどの商品およびサービスのための様々な連邦および州の税金を単一の全国的な体制に包摂する。(出典: Bloomberg、2018 年 6 月 29 日現在の RBI 参照レート: USD 1 = INR 68.5753)

インドの製造業およびサービス業は、新規事業の年間成長率が最も高い需要の増加に伴い、6 月の 1 年で最も速いペースで改善した。日経インドサービス事業活動指数は、前月の 49.6 から 6 月には 52.6 に上昇した;

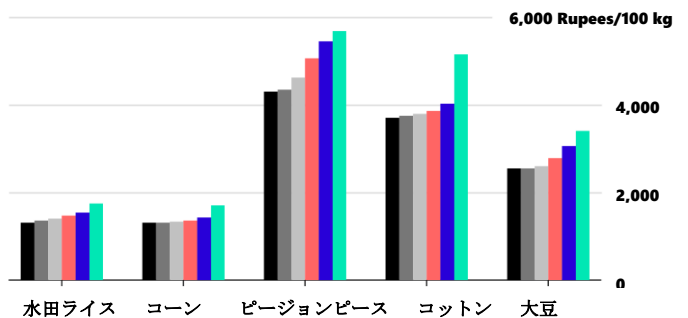
その間に日経インド総合 PMI 出力指数は 2016 年 10 月以来の最高値を記録し、前月の 50.4 から 6 月には 53.3 に上昇した。インドの国内総生産 (GDP) の 60% に貢献しているサービス業は、人材が 1 年で最も速いペースで増加したため、5 月に 5 ヶ月ぶりの低水準から雇用の伸びを上げた。(出典: Bloomberg)

インドは、世界知的所有権機関、INSEAD、コーネル大学、および GII ナレッジパートナーによって発表されたグローバル・イノベーション・インデックスのランキングでは、2 年連続で情報技術サービスのトップ輸出国としての位置を維持し、3 位を進めて 57 位にランクインした。この報告書は、80 の指標に基づいて 126 の経済を位置付けしている。インドは購買力平価で測った国内市場規模で 3 位、GDP 成長率は労働者 1 人当たり購買力桁で 4 位、理工系卒業生数では 6 位にランク付けされた。(出典: BloombergQuint、世界知的所有権機関)

サポートの立ち上がり

インドは作物の最低補助価格を大幅に引き上げる

■ 2013-14 ■ 2014-15 ■ 2015-16 ■ 2016-17 ■ 2017-18



ナレンドラ・モディ首相は、2022 年までに農業収入を倍増させるという誓約を果たす動きで農業補助価格を増加すると発表しました。農家がプロダクションコストより少なくとも 50% 以上を得るようにコモングレードのパディー、綿、大豆などの作物の最低補助価格 (MSP) が増加されました。MSP の増加は、インドの 13 億人の人口の約 62% を占める農業コミュニティの心を勝ち取るために最近発表された各プログラムの 1 つです。彼らは、2019 年初頭の総選挙に臨んでいる Modi の主要投票者になるということです。(出典: Bloomberg)

重要な情報

この報告書は、株式単元のオファーを構成するものではなく、勧告または意見書または広告でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起こり得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、助言を求めるべきであります。

当社がお客様の投資問題を解決するうえでお役に立てる方法について詳しくお知りになりたい場合には UTI 資担当にお問い合わせ頂くか、www.utifunds.com をご覧ください。